

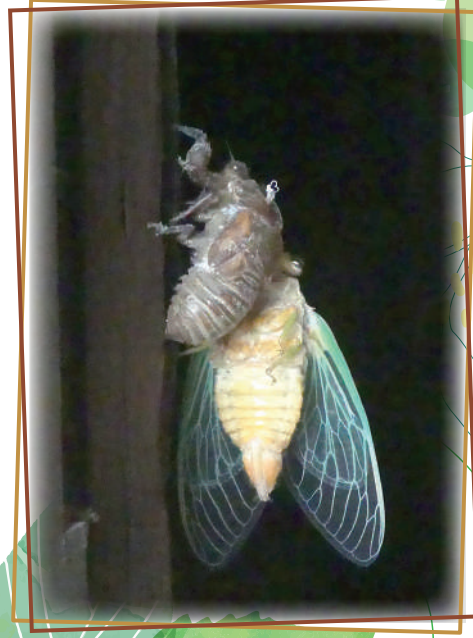


① カナブンと ヨツボシケシスイ



② ゴマダラチョウ

樹液を吸うよ



③ セミの羽化 (クマゼミ)

樹液に集まる生きものを観察しよう♪

染み出した後に発酵した樹液の甘酸っぱい香りに誘われて、いろいろな生きものが訪れます。

甲虫こうちゅうのなかま：カブトムシ、シラホシハナムグリ、カナブン、ヨツボシケシスイなど

チョウのなかま：ゴマダラチョウ、ヒカゲチョウ、ルリタテハなど



ヒカゲチョウ

他にも見つけられるかな？
時間を変えて観察しても面白いよ！

※スズメバチが訪れる場合があります。手で払ったり（攻撃されたとみなされます）、近づきすぎたりしないよう注意しましょう。

子育て中は静かに見守ってね！

アオバズク

(フクロウ科 京都府レッドリスト準絶滅危惧種)

かつて、未熟なヒナが巣から落下し、死亡するというケースが数多く発生していました。調査の結果、「人間が与えるストレス」により「親鳥が出した警戒音（声）」を聞いて「ヒナがパニックに陥った」ことが原因とわかりました。

巣に近づかない、大きな音（声）を出さない、光を当てない等のご配慮をいただき、観察は短時間をお願いいたします。



イベント情報

★お子さまにおすすめ★

夏のトンボ池一般公開

(令和7年9月上旬開催予定)

自然豊かなビオトープ「トンボ池」を期間限定で公開します。季節ならではの水辺の生きものを観察することができます。

※虫捕りはできません。小学生以下は保護者の同伴が必要です。
※詳細は苑内ポスター、ホームページ、SNS等でお知らせします。

モリアオガエル



@kyotogyoen_info



@gyoen_info

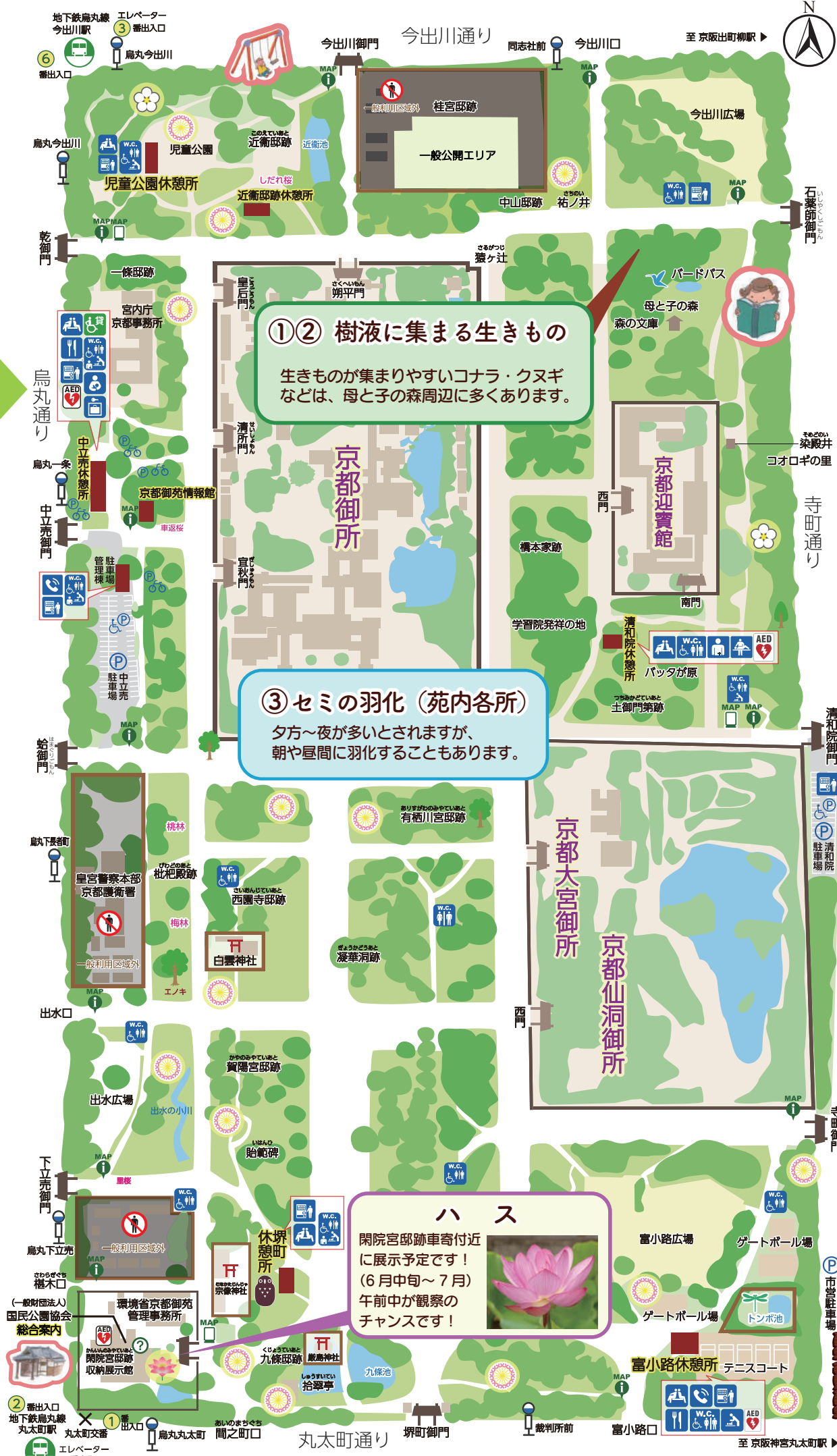
御苑ならでは!?!の夏を観察しよう!

国民公園 京都御苑 散策マップ

夏

-  サルスベリ
-  ヤブミョウガ
-  アオバズク
-  ハス

感染症対策にご協力をお願い致します。



①② 樹液に集まる生きもの
 生きものが集まりやすいコナラ・クヌギなどは、母と子の森周辺に多くあります。

③ セミの羽化 (苑内各所)
 夕方～夜が多いとされますが、朝や昼間に羽化することもあります。

ハス
 閑院宮邸跡車寄付近に展示予定です!
 (6月中旬～7月) 午前中が観察のチャンスです!

